



## 今月の主な内容

- クロスカントリースキー大会
- 地域おこし協力隊 田淵隊員
- ありがとうオリバーさん

## 今月の表紙

お友達に負けないぞ！  
第54回湧別町スケート大会



# 第38回 湧別原野オホーツク クロスカントリースキー大会



少雪のため初の規模縮小も

642人が白銀の大地を駆け抜ける

2月25日（日）に第38回湧別原野オホーツククロスカントリースキー大会が遠軽町から湧別町にわたる湧別川流域を舞台に開催されました。

少雪の影響から、日本最長の95kmを駆け抜けるスキー駅伝や80kmの湧別原野コースなどが中止となりましたが、24kmの湧別コース、10kmコース、3kmコース、湧別コースを5人の合計タイムで競うスキー駅伝の4種目が行われ642人が出場しました。

今大会最長の湧別コースのスタート地点（遠軽町菅東球場）では、9時の気温が氷点下10℃と寒い中でのスタートとなりましたが、好天に恵まれ、選手たちは地元ボランティアなどの温かい声援を背に、ワンウェイコースならではの自然の風景も楽しみながら、白銀の大地を駆け抜けました。

湧別コース、10kmコース、スキー駅伝のゴール地点となった文化センターTOMには、10時過ぎから選手たちが次々にゴールし、疲れとともに充実した表情を見せていました。少雪に加え、当日まで気温が高く推移したことからコース整備が難航し、大会の開催自体が危ぶまれましたが、当日まで雪入れをするなどご尽力いただいた関係者、大会運営にご協力いただいたボランティアの方々には心からお礼を申し上げます。

種目	出走者数	完走者数	完走率
湧別コース 24km	456人	453人	99.34%
10kmコース	38人	38人	100%
3kmコース	108人	108人	100%
スキー駅伝 24km	8組40人	8組40人	100%
合計	642人	639人	—

## 湧別コース(24km) 男子

- 優勝 木村大志(長野県 1:01:26)
- 2位 山田琢也(長野県 1:01:28)
- 3位 大江悠太(名寄市 1:04:33)

## 湧別コース(24km) 女子

- 優勝 米田和美(札幌市 1:11:06)
- 2位 桐山日和(美幌町 1:12:24)
- 3位 長野安那(長野県 1:15:40)

## 10kmコース 男子

- 優勝 岡部 諭(美幌町 0:35:47)
- 2位 旭 裕輝(旭川市 0:35:58)
- 3位 引地 慎(湧別町 0:37:54)

## 10kmコース 女子

- 優勝 遠藤真愛(湧別町 0:53:17)
- 2位 今井晴美(紋別市 1:09:49)
- 3位 松田陽子(紋別市 1:10:47)

## スキー駅伝(24km)

- 優勝 風雪磨人ger S-1(遠軽町 5:47:11)
- 2位 空自千歳剛クラブ(恵庭市 6:01:20)
- 3位 いんとペーテ一(遠軽町 6:40:56)





## 3年半の任期を終え、協力隊を卒業します

2020年10月に着任し地域おこし協力隊として活動していましたが、半年の延長期間を経て、このたび3月末日をもって卒業となります。



これまでの活動は広報ゆうべつ2023年11月号に掲載しましたので、最終回の今回は先々やっていきたいことをお伝えしたいと思います。

田淵隊員(写真右)とジビエ事業の前代表 伊藤栄さん(写真左)

### ●継承したジビエ事業に注力していきます!



まだまだ引き継いだばかりですので油断せず、安定経営を目指していききたいと思います。

### ●商品開発やお肉以外の活用



赤ワイン煮



コンフィ

シカ肉を使用した新商品の開発に取り組んでいますが、なかなか一筋縄にはいかず、試作、検討を繰り返しています。皆さまにお見せできるようになるまで今しばらくお待ちください。

住居を購入し長く生活していく準備も整いました

### 庭から見える風景



自然を感じられる理想に限りなく近い家が見つかりました

つこの角製品は意外と需要があり、もっと活用できればと考えています。

ただ、鳥獣被害対策としてはオスばかり獲るのはよくないので、そこは難しいところです…。事業の継続性と被害対策のバランスはよく考えていきたいと思っています。



●ジビエや狩猟、自然に関心のある方向けの  
体験、見学プログラムを発展させていきたい



すでに工場見学やジビエ事業の立ち上げについて聞かせてほしいといったお問い合わせを多数受けています。



昨年シカ皮体験プログラムに協力させていただきました。体験や見学プログラムでジビエ活用に関心を持っていただき、なおかつ湧別に訪れる人が増えればよりいいと考えております。

●横のつながりも生かして、  
ジビエ以外のことも取り組んでいきたい



地区の祭りのお手伝い



クロスカントリースキー大会のお手伝い

協力隊として活動した中で、町内はもちろん、町外、道外のつながりがたくさん生まれました。それぞれの皆さんの活動やお仕事は直接的にジビエや湧別町に関係のない場合ももちろんありますが、私はこのような余白の部分が新しいことや湧別の魅力の再発見につながると感じています。

関係性をこれからも大事にしていきながら、ジビエ以外の取り組みやお互いの地域の発展、社会貢献につながることなど、積極的に取り組んでいきたいと思っております。



本当にたくさんの皆さまのご協力、ご支援があってここまでやってこられたと思います。あらためてお礼申し上げます。

協力隊の任期は終わりましたが、今後も一町民、協力隊OBとして湧別町の魅力を発信、引き出していただけるような活動をしていきたいと思っております。ありがとうございました！

# まちづくり懇談会

貴重なご意見・ご提案を  
いただきありがとうございました

令和5年度の「まちづくり懇談会」が12月4日から1月29日まで15会場で開催され、322の方にご参加いただきました。

お寄せいただいたご意見、ご要望の一部をご紹介します。

※紙面の都合上、要約して掲載しています。

## 庁舎の集約化

人口が減少していく中、庁舎集約化を進める必要があるのか。

答 現在庁舎機能は3カ所に分散しており、維持管理費が増大している。またデジタル化や防災拠点の機能を持たせるためには多額の改修費が必要となる。財源である合併推進債には期限があり、検討委員会から新庁舎を町の中心に位置する中湧別地区に新築し集約すべきとの答申を受け、町としてもこのタイミングを逃せば自己財源で建設しなければならぬことから集約を進めている。

中心市街地の活性化も考慮し新庁舎の位置はTOM周辺が良いのではないか。

答 TOM周辺も検討したが面積が足りず断念した。中心市街地の活性化はまた別の問題と捉えている。

閉校する中湧別小学校を活用し新築面積を減らし、育児支援、湧別高校生への活動支援、社会教育機能などを兼ね備えた「複合型防災拠点庁舎」として整備することが最適と判断した。

町の実質の負担率ほどの程度になるか。

答 合併した市町村だけが利用できる合併推進債を活用することで町の負担を6割強程度に抑える

ことができる。また、このほかにも有利な起債や補助金の活用を検討している。

現在の庁舎はどうなるのか。

答 湧別庁舎は老朽化しているため保健福祉センターを残し解体する。上湧別庁舎は出張所などとして再利用を検討しているが、施設の再配置や学校の統合も関係するので皆さんと相談しながら進めたい。

庁舎を建設することで町民負担が増え、行政サービスが低下するのは。

答 行政サービスと庁舎建設は別の話であり、実施すべき施策は当然やっていく。合併以来健全財政で運営してきたとおり、庁舎建設にあたり新たに町民負担が出てくることはない。

建築費が高騰した場合はどうするのか。

答 基本計画、基本設計と進めていく中で詳細な金額が出てくる。大幅な値上げが見込まれる場合は建設自体を再検討する。

## 子育て支援

保育士が足りていないのでは。一時保育が利用できないことがある。

答 3歳未満児の入所について要望も多いので、保育士の確保につ

いて検討する。

保育料の所得制限を撤廃してはどうか。所得があるからといって子どもが増えるとは思えない。

答 本町は子育て支援に力を入れており、3歳未満児の保育料と給食費以外はほぼ料金がかかっていないが、もう一歩踏み込んだ施策も検討したい。

## 公共施設の再配置

公共施設再配置実行計画の進捗状況は。

答 令和8年度までに公共施設の床面積を10%削減する計画。若干遅れているが、今年4月ゆうべつ学園開校にともない大きく削減、令和7年の上湧別地区義務

## 環境保全

農薬や除草剤による地下水の水質汚染が心配。

答 浄水場の検査は当然行っており、水質保全連絡協議会で水質調査も行っている。今後も調査をしていく。

閉校した湧別小学校はどうなるのか。

答 国の交付金があるうちに解体する。解体後の跡地は、面積が広いのでグラウンドや分譲宅地などの活用を検討している。

## 開催状況

月日	自治会	人数
12/4(月)	5の1	14
12/5(火)	芭露	16
12/6(水)	東町	22
12/7(木)	川西・信部内・旭	20
12/7(木)	港町・曙町・緑町・栄町	22
12/9(土)	札富美	11
12/10(日)	計呂地	24
12/11(月)	北町・中町	26
12/17(日)	5の3	24
12/17(日)	錦町	29
12/18(月)	富美	14
1/15(月)	東	27
1/19(金)	南町	19
1/27(土)	屯市	22
1/29(月)	登栄床	32
計	15会場21自治会	322

ホームページでは掲載しきれなかった意見などもご覧になることができます



令和5年  
救急・救助  
状況

救急・救助の状況

◆湧別町の救急出場の概況

令和5年の救急出場件数は427件（前年より66件減）、搬送人員は399人（前年より71人減）となり、出場件数・搬送人員ともに過去最多となった昨年より減少しました。

事故種別ごとにみると、「急病」が最も多く287件と全体の67%を占めており、次いで「一般負傷」が59件（13%）、「転院搬送」が44件（10%）の順となっています。

緊急ではないのに救急車を要請する方がいます。一刻を争う救急出動に即座に対応できない場合が生じてきますので、おやめください。救急車は、緊急時に病院へ搬送するための町民の共有財産ですので、引き続き救急車の適正利用にご協力をお願いします。

また、救急車は、緊急時に安全かつ迅速に現場に赴き、病院へ搬送するためにサイレンを鳴らしています。これは、道路交通法に定められているもので、救急車のサイレンの吹鳴と緊急走行にご理解とご協力をお願いいたします。

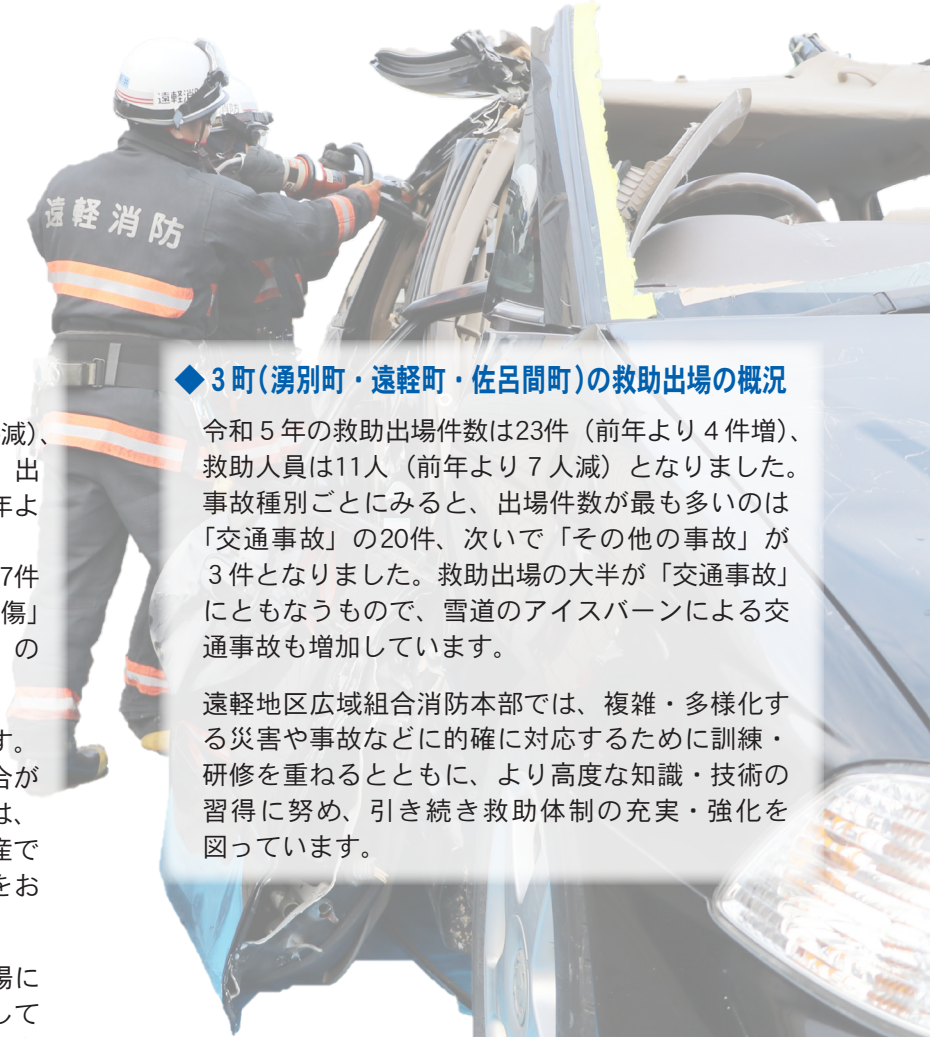
◆救急出場状況（令和4年～令和5年）

救急出場件数		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	医師搬送	資機材等輸送	その他	合計
3町	出場件数	R 5	2	2	76	34	5	256	2	14	1,084	230			7	1,712
		R 4	4		80	41	8	261	1	11	1,152	270			9	1,837
	不搬送件数	R 5	2		20	1		10		6	85	2			7	133
		R 4	1		15	1		11	1	6	79	1			9	124
搬送人員	R 5			2	60	33	5	246	2	8	999	228				1,583
	R 4	3			76	41	8	250		5	1,074	269				1,726
湧別町	出場件数	R 5		1	14	12	4	59	1	4	287	44			1	427
		R 4				20	18	1	70		3	324	54		3	493
	不搬送件数	R 5			4			3		1	19	1			1	29
		R 4				6			3		12				3	24
搬送人員	R 5			1	11	12	4	56	1	3	268	43				399
	R 4				14	19	1	67		3	312	54				470

※1件の出場で複数人搬送している場合があります。

◆救助出場状況（令和4年～令和5年）

救助出場件数		火災	交通事故	水難事故	自然災害	機械	建物	ガス酸欠	破裂	その他	合計
3町	出場件数	R 5	20							3	23
		R 4	16			1				2	19
	活動件数	R 5	10							1	11
		R 4	12			1				1	14
救助人員	R 5	10								1	11
	R 4	16				1				1	18



## 1/20 寒さも忘れ氷下釣りを体験

ゆうゆう湧くわく体験塾

今年最初の湧くわく体験塾が行われ、塾生約10人が参加しました。

この日は、ゆうべつアウトドアクラブYU-PAL（絹張洋史 会長）を先生に迎え、厚く凍った川に穴をあけて魚を釣る氷下釣りを体験しました。

初めて体験した塾生も多くいましたが、塾生たちは「全員が釣れて良かった。もっとたくさん釣りたいかった。」と話し、寒さも忘れ冬ならではの体験を楽しんでいました。

芭露川



地域の特性を生かした体験活動を教育委員会が主催して毎月行われています

## 1/20 冬も元気にスポーツを

チャレンジスポーツスクール

チャレンジスポーツスクールは、さまざまなスポーツ体験を通じてスポーツへの関心や仲間づくりを図るために、毎月1回教育委員会が実施しているもので、今回はスピードスケートと氷上ホッケーに挑戦しました。

スケートでは、椅子を支えに立つのもやっとだった子どもも、氷の感触を確かめながら滑れるまでに上達しました。氷上ホッケーでは、滑って転びながらもボールを必死に追いかけて、ゴールを決めて大喜びするなど、子どもたちは寒さを忘れウィンタースポーツを満喫していました。

芭露スケートリンク



町内の小学1年生から3年生までの約20人が参加

## 1/31 町民によるまちづくりを目指して

第3期 第6回自治推進委員会を開催

6回目の委員会では、自治基本条例の「行政機関」と「行政運営」について審議されました。

行政機関では、「民間企業も若い人が辞めてしまい苦労しているので、役場も若い職員がやりたいことをうまく把握し、失敗してもフォローすることで力を発揮できるシステムを作っていくべきではないか」、行政運営では「パブリックコメントの結果がいつ・どこで見られるか載せると良い」、「パブリックコメントの意見提出用紙を書く時に、何ページのどの部分への意見が記載するのが大変」、「もっと意見を出しやすい環境ができれば、いろいろな意見が出て、町民が町政に参加しているという意識も湧くのでは」など、さまざまな意見が出されました。

文化センターTOM



自治基本条例を点検し見直す、自治推進委員会。6回目の委員会も、各委員のさまざまな視点から意見が活発に出されました

### 広告

# カーライフプラン

金利割引実施中

所定の審査がございます。商品内容等、詳しくは当金庫ホームページをご覧ください。



ふれあい さわやか  
遠軽信用金庫



温まり感が違います!!

木曜日は

## 薬草湯の日

3月の薬草湯は  
イチジク・桑の葉・アオシロ・ローズマリー配合の薬草湯です  
ウイルスに負けない身体づくりは保溫から。  
ゆっくりじっくり温まりませんか?

かみゆうべつ温泉 チューリップの湯

湧別町中湧別中町 TEL(01586)④-1126 沢口産業株式会社





町内の保育所・認定こども園



今年で31回目となる商工会青年部による恒例行事

2/  
2

## 鬼はそと！福はうち！

商工会青年部が豆まかれ訪問

子どもたちに日本の伝統行事「豆まき」を楽しんでもらいたいと、商工会青年部（竹林直人 部長）による「豆まかれ訪問」が町内の保育所・認定こども園で行われました。

赤・青・緑・黒鬼に仮装した青年部員が登場すると、あまりの迫力に大泣きする子どももいましたが、勇気を出してみんなで「鬼は一そとー！」と鬼に豆をぶつけていました。

子どもたちの迫力に圧倒された鬼たちは、「参りました〜ごめんなさい」と降参。一年間良い子でいることを約束して子どもたちとお別れしました。

文化センターさざ波



子どもと一緒に簡単に作ることでできるふりかけを作り、天然出汁の味噌汁とともに試食しました

2/  
4

## 子どもの健やかな成長を願って

家庭教育研修会

この研修会は、地域で支えあう家庭教育支援に取り組むため、子育てに関わる方が集い学ぶ機会として毎年開催しているもので、今年は置戸町食のアドバイザーである佐々木十美さんを講師に招き、実習形式で行われました。

天然素材から取った出汁と、市販の粉末を使った出汁の飲み比べをし、普段どんな調味料や食材を使用しているのか、疑問を持つことが大事だと語られたほか、手作りご飯が子どもの発育や心身の健康にいかに重要か、実体験をもとに語られ、参加者は真剣に話を聞いていました。

湧別高校



この授業は、関根さんが令和4年度湧別町民大学に講師として来町したことがきっかけで実現したものです

2/  
15

## アイヌ文化は身近にあふれている

湧別高校で特別授業

湧別高校の社会科授業の一環として、日高管内平取町二風谷出身でアイヌにルーツをもつ関根摩耶さんを講師に招いた特別授業が行われました。

関根さんは、アイヌ文化には色の種類は4色しかないことや、アイヌの考え方を紹介しながら、「さまざまな角度で物事を見てほしい」と語りました。

また、放課後には文化センターTOMロビーで学校帰りの生徒たちと歓談する時間も設けられ、生徒たちは関根さんのお話の花を咲かせていました。

広告

お電話1本、24時間、365日お迎えに伺います

株式会社

# えんがる葬祭

☎ 0158-42-9898

遠軽町学田2丁目6-1 FAX 0158-42-9933



24時間  
受付

式場収容数  
・大ホール400名  
・中ホール200名  
・小ホール100名  
・法事ホール



2/  
15

## 世代を超えて楽しもう

ニュースポーツdeあそぼ

ニュースポーツdeあそぼは、頭脳スポーツ「モルック」やヨーロッパ発祥のスポーツ「ポッチャ」など、誰でも簡単に楽しめるスポーツを通じて多くの人との交流を深めてもらおうと教育委員会が主催しているものです。

この日は、羽のついた平たいボールをバレーボール形式で打ち合う、ドイツ発祥の「インディアカ」を体験。初めはうまく打てず苦戦していましたが、試合を重ねるごとに上達していき、チームでつないで点数が入ると大盛り上がり。参加者は世代を超えて楽しんでいました。

中湧別総合体育館



年3回開催。2回目となった今回は、約20の方が参加し、交流を深めていました

2/  
17

## レッツ プレイ イン イングリッシュ

小学生英会話事業

異文化に触れ、英語を使う楽しさを知ってもらおうと教育委員会の主催で毎年行っているもので、町内の小学校・義務教育学校の児童10人が参加しました。

今回のテーマは「世界旅行にでかけよう！」で、参加者はパスポートを片手に、入国審査を受けたり、換金をしたり、買い物をしたりと疑似旅行を体験しました。

進行や各コーナーでのやり取りなど、全てを英語で行うため、最初は戸惑っていましたが、徐々に理解し、英語を使って世界旅行を楽しんでいました。

文化センターさざ波



英会話で買い物をするなど、楽しみました

2/  
18

## 自由な発想で組み合わせ

ソープフラワーBOX ワークショップ

せっけんで作られたバラの花や、さまざまな花材を箱の中に飾り付け、香りや見た目の美しさを楽しむソープフラワーBOXのワークショップが開催されました。

アトリエChiro主宰 渡邊千晶さんを講師に招き行われたもので、それぞれ自由な発想で配色や配置を決めていくため、全員が同じ花材を使用して作製したにもかかわらず、同じものはひとつもなく、まったく違った見た目のBOXができあがり、参加者は世界に一つだけのソープフラワーBOXに大満足の様子でした。

文化センターTOM



町民約20人が参加しました

2/  
28

## 高齢者福祉施設にホタテ玉冷寄贈

日ごろの感謝を込めて

日ごろの感謝と水産物の消費拡大を目的に、湧別漁業協同組合（阿部俊彦 組合長）から高齢者福祉施設にホタテ玉冷が寄贈されました。

町内5つの事業所（湧別福祉会、上湧別福祉会、湧別町社会福祉協議会、㈱ドリーム・イデア、㈱ひまわり）に合計165kgのホタテが寄贈されたもので、湧愛園では、ホタテフライなどとして利用者に振る舞われる予定で、利用者は「新鮮なホタテを食べるのが今から楽しみ」とうれしそうに話していました。

湧愛園



湧愛園ではホタテご飯やホタテフライとして利用者に振る舞われる予定です